

中小企業景況調査報告書

(第135回)

平成26年7～9月期 実績

平成26年10～12月期 見通し

平成26年10月

北海道商工会議所連合会

目 次

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間	2
2. 調査対象	2
3. 調査地域及び調査方法	2
4. 業種別・規模別回答状況	2

II. 概 況

1. 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2. 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16

調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調 査 時 点 平成26年9月

(2) 調 査 対 象 期間 平成26年7～9月期実績及び平成26年10～12月期の見通し

2. 調 査 対 象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。また各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）

全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	サービ業	合 計
小 規 模	34	54	41	61	69	259
中 規 模	12	12	17	12	19	72
合 計	46	66	58	73	88	331
構成比(%)	13.9	19.9	17.5	22.1	26.6	100.0

業界動向調査

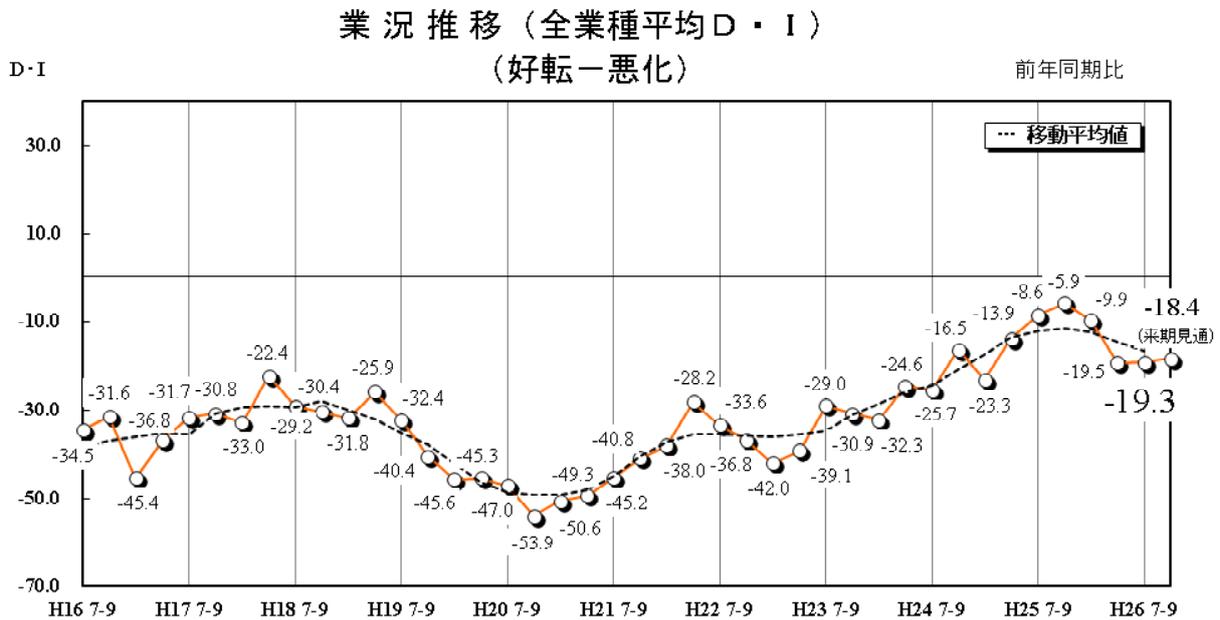
・業界動向ヒアリング先 製造業 46社、建設業 24社、卸売業 9社、
小売業 25社、サービス業 28社、合計132社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

Ⅱ. 概 況

- 業況D・Iは横ばいに推移、先行きは持ち直しを見込むも弱い動き -



今期の業況

今期（7月～9月期）の中小企業景況調査における全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前年同期比（平成25年7月～9月期の水準と比較した今期の業況）では 19.3と前回調査とほぼ横ばいで推移した。

来期の業況見通しは、18.4とマイナス幅を縮小する見通しとなっている。

業種別では、前年同期比では、製造(前回 23.2 今回 19.6)、建設(前回 3.0 今回 10.5)、卸売(前回 35.6 今回 29.3)、小売(前回 18.9 今回 20.5)、サービス(前回 16.5 今回 16.7)と、製造業・卸売業でマイナス幅は縮小した。

今期の経営上の問題点として、依然として「需要の停滞」が建設業を除く4業種で大きな要因となっている。また、製造業では「原材料価格の上昇」、建設業では「材料単価の上昇」、卸売業では「仕入単価の上昇」、小売業では「消費者ニーズの変化への対応」、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」などの問題点が浮上している。

また、新たに設備投資を実施した企業は平均で**16.7%**〔前回調査時（平成26年4～6月期18.8%）〕、業種別では製造〔前回20.4% 28.9%〕、建設〔前回23.9% 10.4%〕、卸売〔前回21.3% 19.3%〕、小売〔前回10.0% 8.3%〕、サービス〔前回18.4% 16.5%〕と、製造業を除く4業種で設備投資を実施した企業は減少した。

産業別の動向

【製造業】〔業況D・I値（前年同期比） 19.6（来期見通し 16.7）〕

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成26年4月～6月期）時点からの推移では、前回 23.2 今回 19.6と3.6ポイントマイナス幅が縮小した。

来期は 16.7とさらにマイナス幅を縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・消費増税に伴い、全製品について価格転嫁をし値上げを行ったが、その影響で売上は落ち込んでいる。（食品製造業）
- ・円安が進み海外向けの引き合いは増えている一方で、国内販売は微減で相殺されている。（食品製造業）
- ・原材料高騰や電気料金値上げなどにより、コスト削減も限界域となっている。（機械製造業）
- ・原料水揚げの減少によりコストは上昇したが、上昇分の製品への転嫁が困難である。（水産加工業）
- ・大手企業では、景気回復感があるようだが、中小企業とは温度差があり、厳しい現状に変わりはない。雇用状況も厳しく、募集してもなかなか人が集まらない。（製造業）

【建設業】〔業況D・I値（前年同期比） 10.5（来期見通し 14.8）〕

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成26年4月～6月期）時点からの推移では、前回 3.0 今回 10.5と7.5ポイントマイナス幅が拡大した。

来期は 14.8とさらにマイナス幅を拡大する見通し。

〔主なコメント〕

- ・価格転嫁はできていない。消費者からの低価格ニーズに対応し、競合相手との価格競争に陥りつつある。（リフォーム工事業）
- ・オール電化住宅のお客様からの電気料金プランの選択、機械・設備の容量の選択等の問い合わせ相談が多くなっている。（電気工事業）
- ・公共工事は順調だが、個人の動きが鈍い。（建設業）
- ・受注量は増えているが、人手不足で仕事の依頼があっても工事がなかなか順調に進まないため、外注に出すケースが多い。（建設業）
- ・施工高は前月に引き続き堅調であるも工事契約先の先細りに不安。また円安による輸入資材など原材料単価の上昇を懸念している。（建設業）

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 29.3（来期見通 17.6）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成26年4月～6月期）時点からの推移では、前回 35.6 今回 29.3と6.3ポイントマイナス幅が縮小した。

来期は 17.6とさらにマイナス幅を縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・円安による木材価格の上昇により繁忙となっているが、今後の需要に不安。（木材卸売業）
- ・本州は天候不順の影響により野菜は不作であることから、道産野菜の価格が高値が取引されることに期待をしている。（農産物卸売業）
- ・消費低迷と天候不順による催事の不振、円安の影響で仕入商品の値上げにより売上が減少した。（食料品卸売業）

【小売業】 [業況D・I値（前年同期比） 20.5（来期見通 23.9）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成26年4月～6月期）時点からの推移では、前回 18.9 今回 20.5と1.6ポイントマイナス幅が拡大した。

来期は 23.9とさらにマイナス幅を拡大する見通し。

〔主なコメント〕

- ・消費税増税前の駆け込み消費の影響はほとんどなくなりつつある。節約志向の中でも食料品等生活必需品の需要は堅調。（スーパー）
- ・4月以降アベノミクス効果も足踏み状態、北海道の最低賃金の引き上げで時給も上昇するので、このままでは悪化に向かう見込み。（コンビニ）
- ・インターネットの普及により、若年層の購読者減少。また、収入源である折込チラシ自体が減少傾向にあるために、その経営環境はますます厳しくなっている。（新聞販売業）
- ・現在の商店街は「人が来ないから店を閉める」、そして「店を閉めるから人が来ない」の悪循環に陥っている。（小売業）

【サービス業】 [業況D・I値（前年同期比） 16.7（来期見通 18.9）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成26年4月～6月期）時点からの推移では、前回 16.5 今回 16.7と0.2ポイントマイナス幅が拡大した。

来期は 18.9とさらにマイナス幅を拡大する見通し。

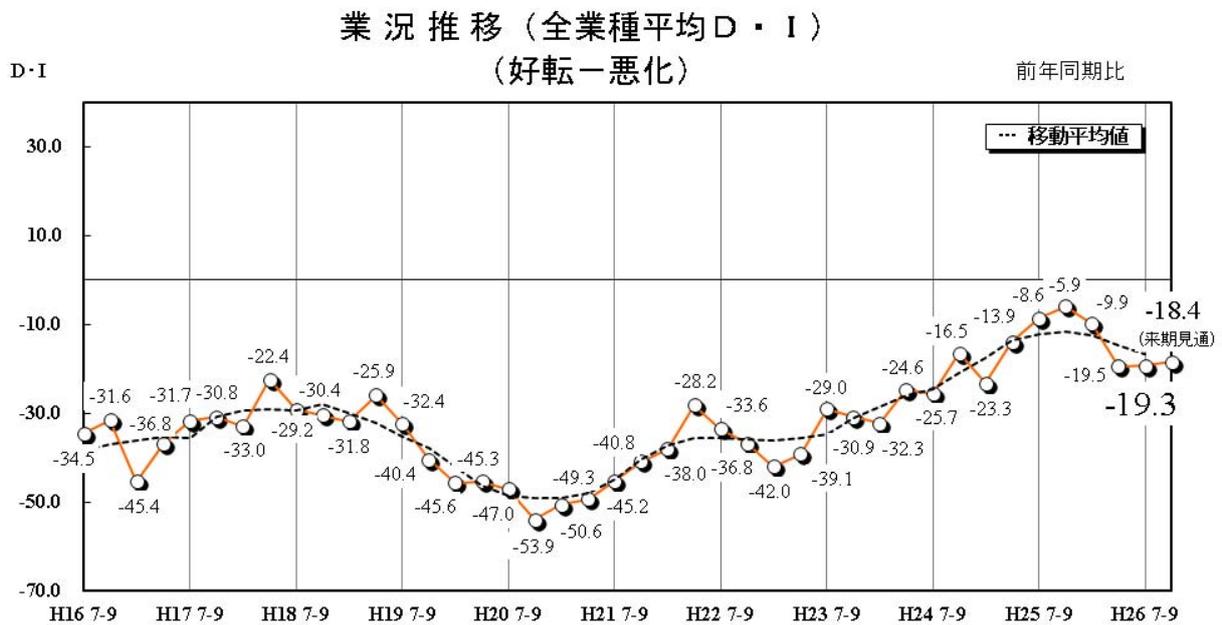
〔主なコメント〕

- ・激安店の進出、固定客の高齢化等により、特に業歴の長い店については、売り上げの減少傾向が進んでいる。（理美容業）
- ・人員の確保が出来ず苦慮している。（警備業）
- ・外国人旅行客の増加に伴い、稼働率、単価共に上昇し業績は順調に推移。仕入単価は上昇ながらも売上の増加でカバーしている。（宿泊業）
- ・需要が増え、一番伸びている業態であるが、経営が難しく、今後の産業の伸びが需要の伸びに追いつくかが課題。（福祉・介護業）

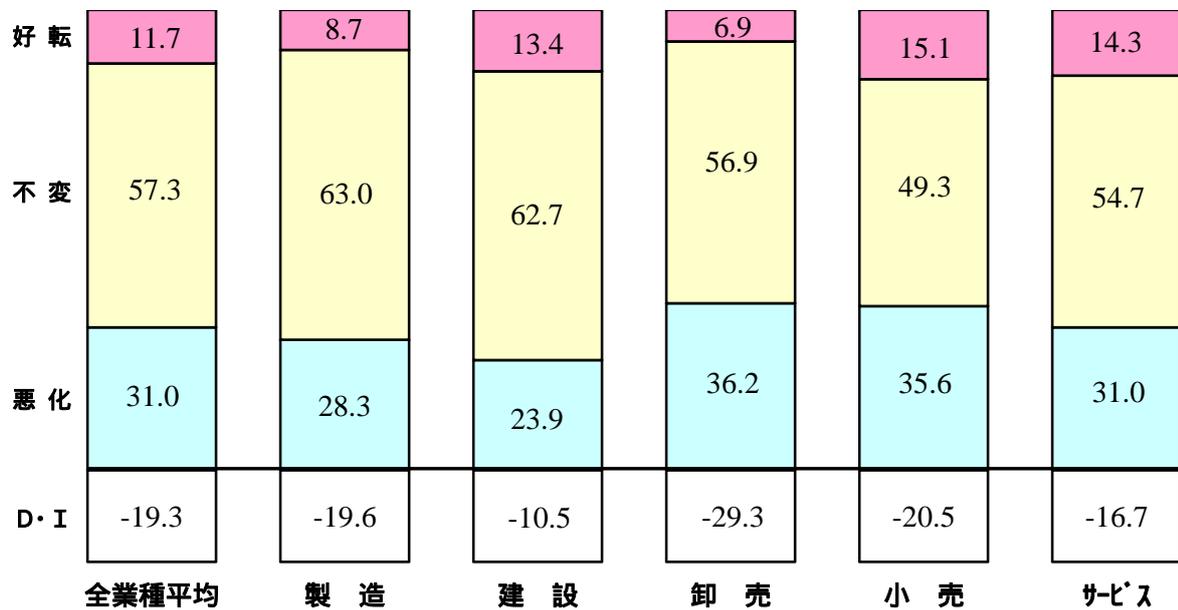
1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成25年7～9月期の水準と比較した今期の業況）



今期の業況（前年同期比）

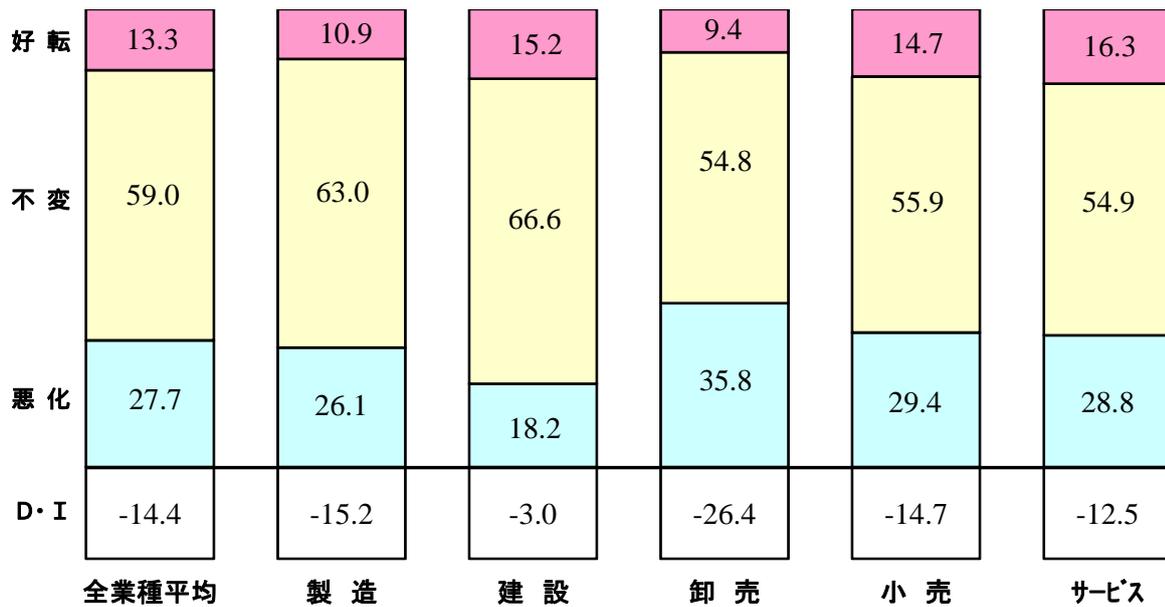


全業種平均でD・I値 19.3〔前回調査時（平成26年4～6月期 19.5）より0.2ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 23.2 19.6〕、建設〔前回 3.0 10.5〕
卸売〔前回 35.6 29.3〕、小売〔前回 18.9 20.5〕
サービス〔前回 16.5 16.7〕

【前期比】（平成26年4～6月期の水準と比較した今期の業況）

今期の業況(前期比)

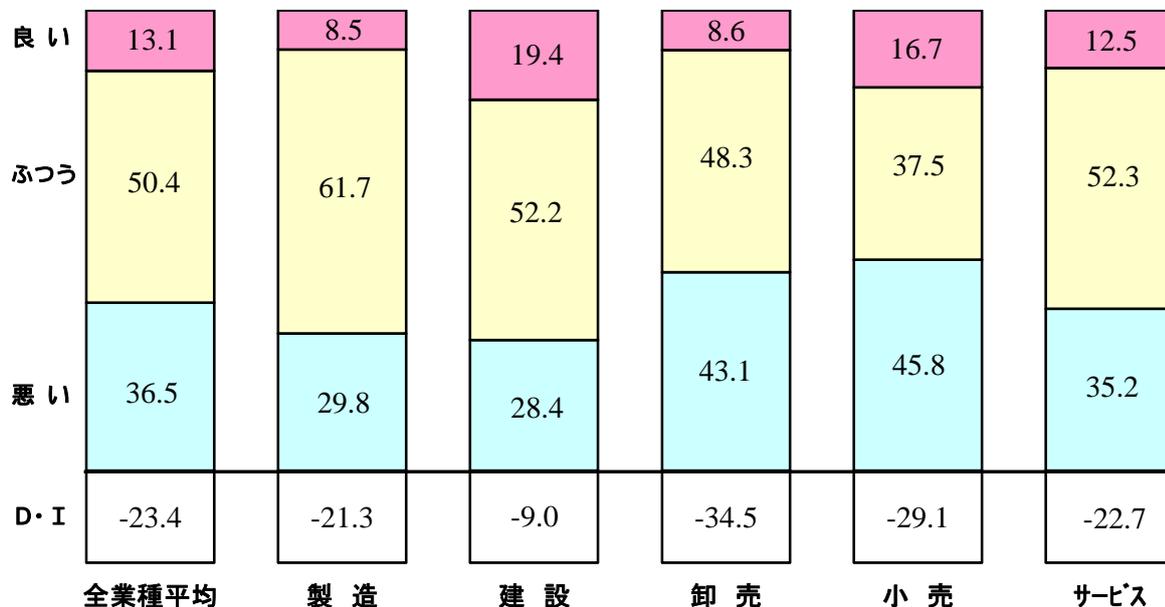


全業種平均でD・I値 14.4〔前回調査時（平成26年4～6月期 14.8）より0.4ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 20.4 15.2〕、建設〔前回 0.0 3.0〕
卸売〔前回 31.1 26.4〕、小売〔前回 15.5 14.7〕
サービス〔前回 6.9 12.5〕

【今期の水準】

今期の業況(今期の水準)



全業種平均でD・I値 23.4〔前回調査時（平成26年4～6月期 28.4）より5.0ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 24.1 21.3〕、建設〔前回 19.1 9.0〕
卸売〔前回 42.6 34.5〕、小売〔前回 33.3 29.1〕
サービス〔前回 22.6 22.7〕

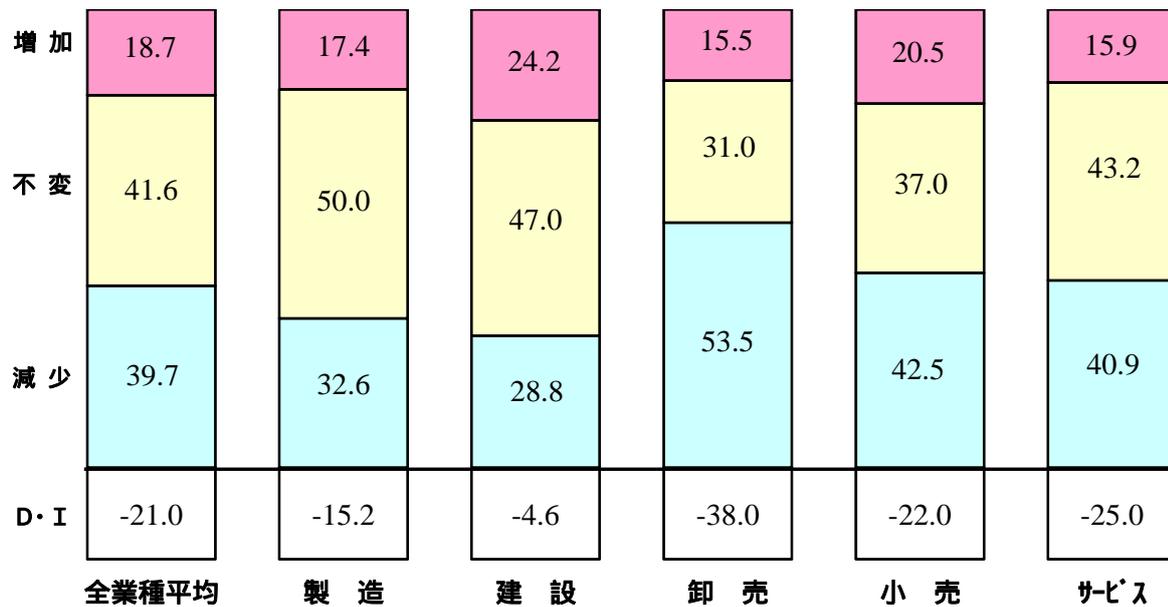
(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成25年7～9月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高推移（全業種平均D・I）
（増加－減少）



今期の売上高（前年同期比）

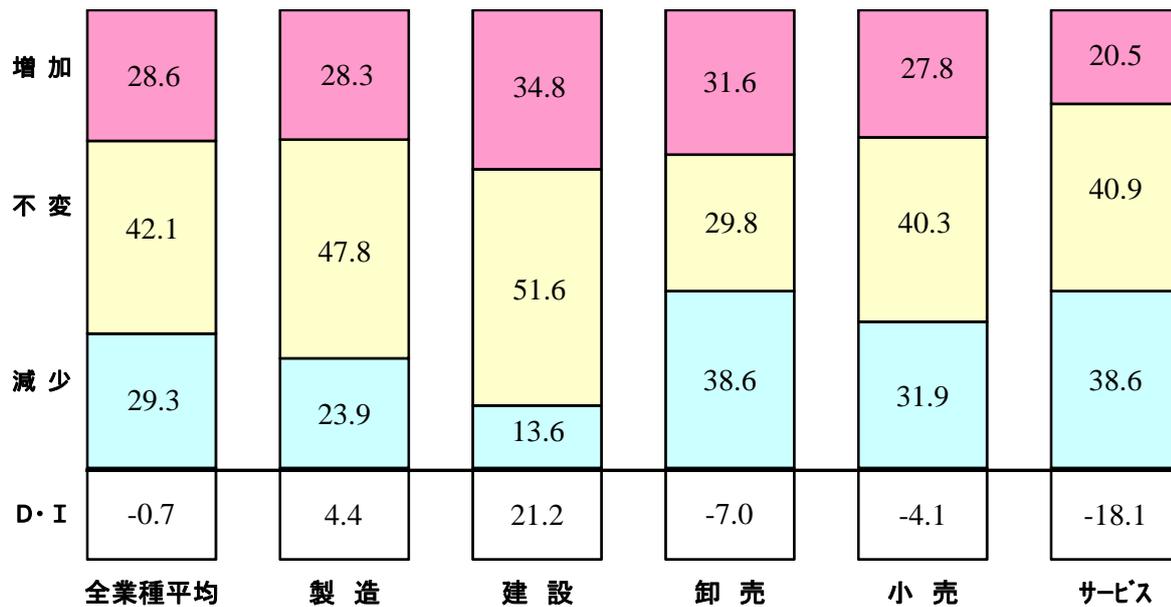


全業種平均でD・I値 ▲21.0〔前回調査時（平成26年4～6月期 24.3）より3.3ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 14.1 15.2〕、建設〔前回 13.3 4.6〕
卸売〔前回 40.9 38.0〕、小売〔前回 34.7 22.0〕
サービス〔前回 18.3 25.0〕

【前期比】（平成26年4～6月期の水準と比較した今期の売上高）

今期の売上高(前期比)



全業種平均でD・I値 ▲0.7〔前回調査時（平成26年4～6月期 13.7）より13.0ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 21.5 4.4〕、建設〔前回 11.8 21.2〕
卸売〔前回 18.0 7.0〕、小売〔前回 12.2 4.1〕
サービス〔前回 5.4 18.1〕

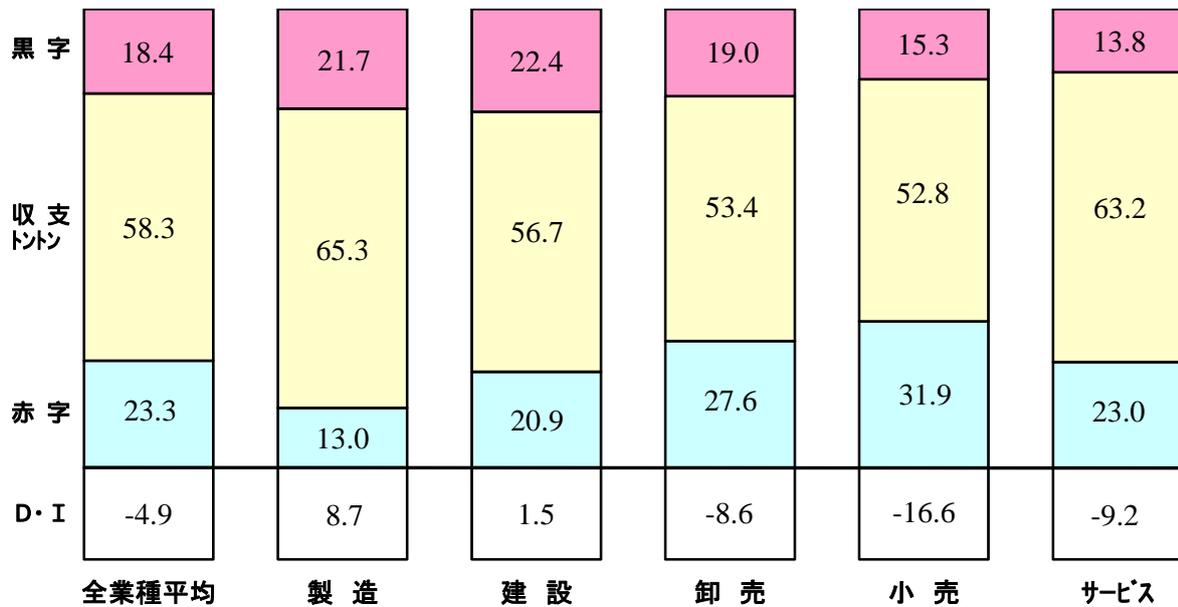
(3) 今期の採算（経常利益）

【今期水準】

採算推移（全業種平均D・I）
（黒字－赤字）



今期の採算(今期の水準)

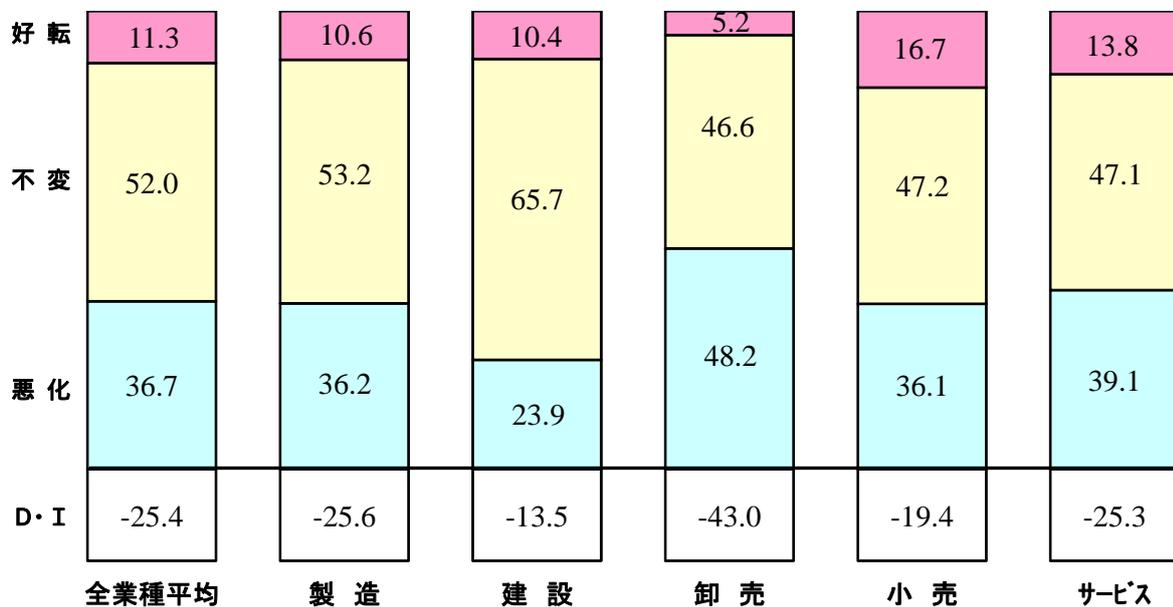


全業種平均でD・I値 4.9〔前回調査時(平成26年4~6月期 6.4)より1.5ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 3.7 8.7〕、建設〔前回 4.4 1.5〕
卸売〔前回 16.3 8.6〕、小売〔前回 5.4 16.6〕
サービス〔前回 11.0 9.2〕

【前年同期比】(平成25年7~9月期の水準と比較した今期の採算)

今期の採算(前年同期比)



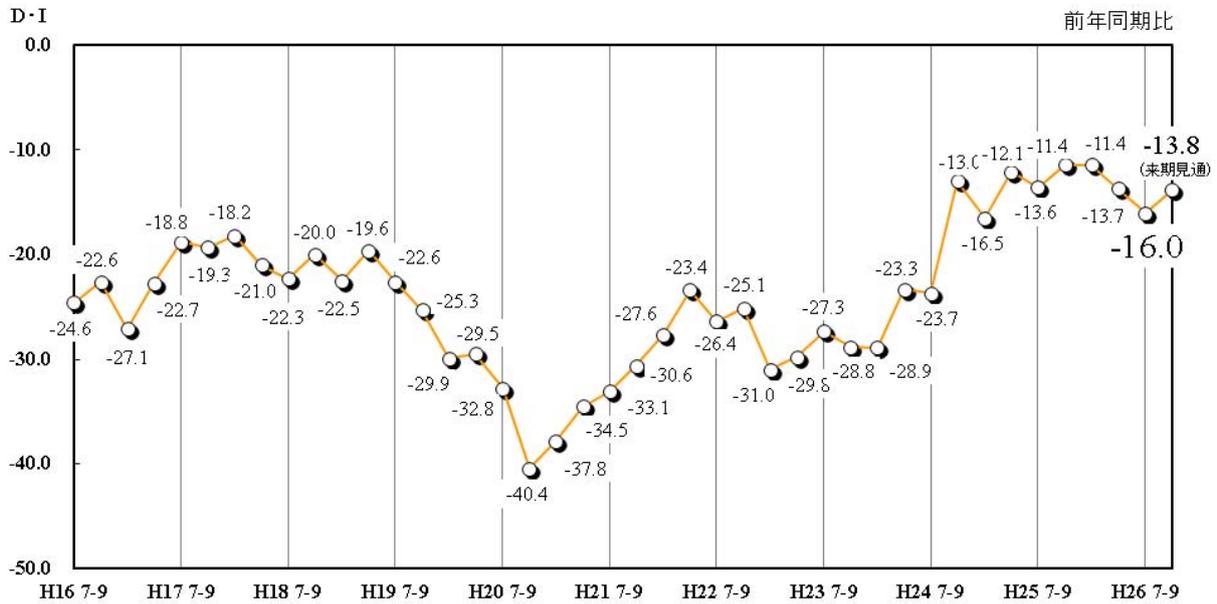
全業種平均でD・I値 25.4〔前回調査時(平成26年4~6月期 25.2)より0.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 24.6 25.6〕、建設〔前回 16.2 13.5〕
卸売〔前回 34.4 43.0〕、小売〔前回 21.6 19.4〕
サービス〔前回 29.3 25.3〕

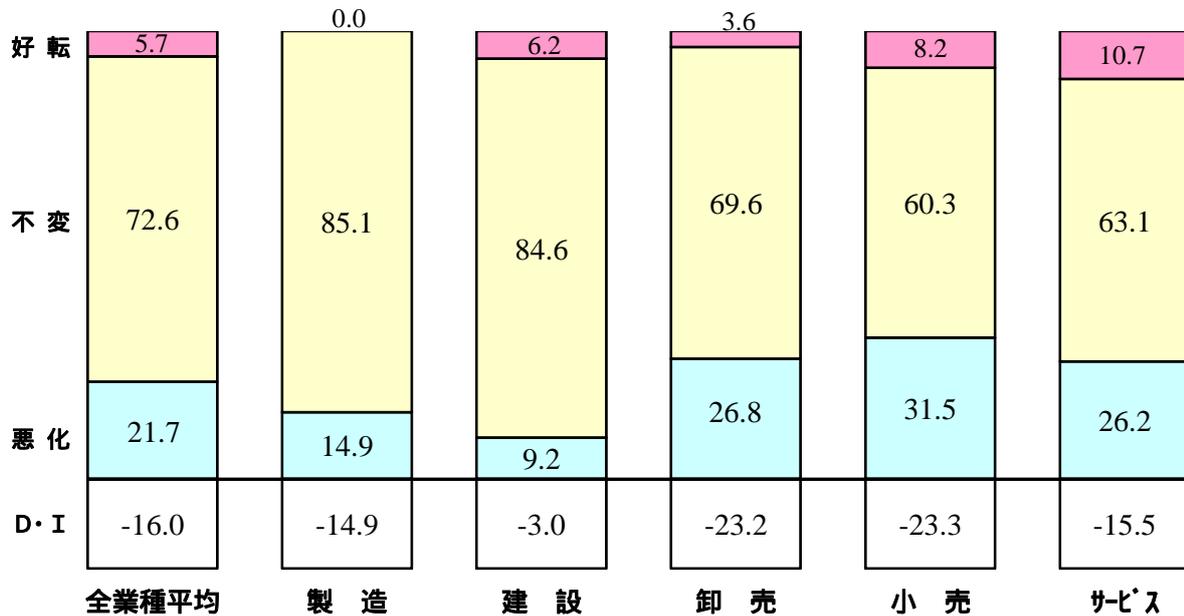
(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成25年7～9月期の水準と比較した今期の資金繰り）

資金繰り推移(全業種平均D・I)
(好転－悪化)



今期の資金繰り(前年同期比)



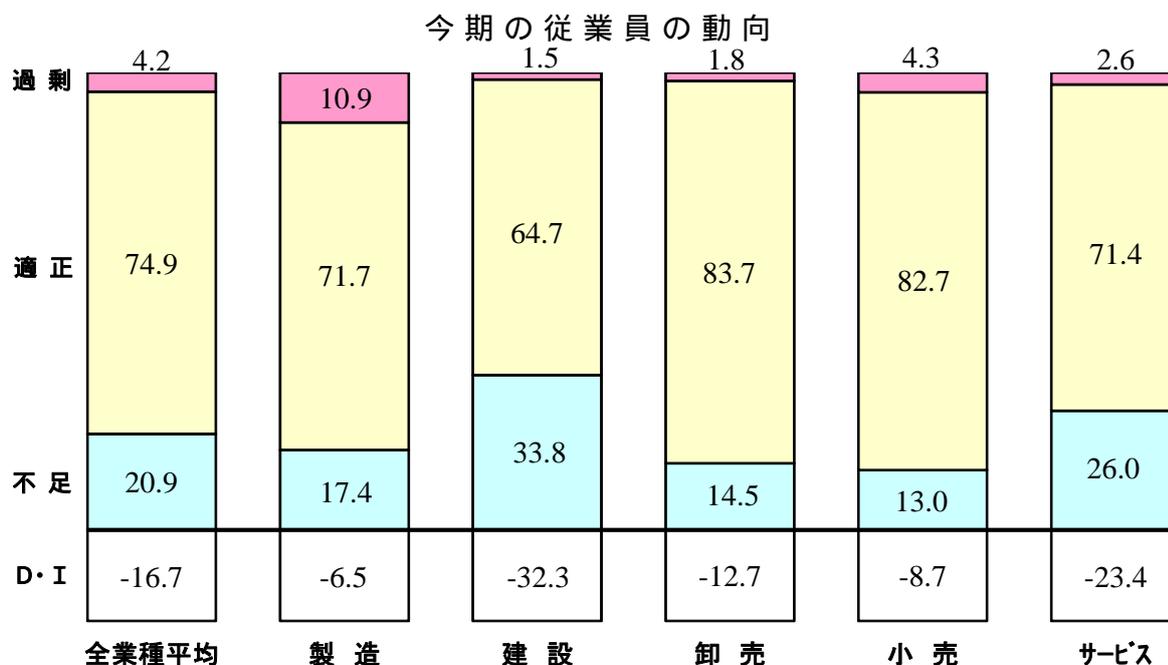
全業種平均でD・I値 16.0〔前回調査時（平成26年4～6月期 13.7）とマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 12.5 14.9〕、建設〔前回 7.6 3.0〕
卸売〔前回 16.6 23.2〕、小売〔前回 19.2 23.3〕
サービス〔前回 12.7 15.5〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「原材料価格の上昇」	(29.8%)	[前回 31.9%]
	「需要の停滞」	(16.2%)	[前回 25.2%]
	「熟練技術者の確保難」	(13.5%)	[前回 6.8%]
建設業	「材料単価の上昇」	(25.9%)	[前回 18.3%]
	「下請業者の確保難」	(13.0%)	[前回 11.0%]
	「熟練技術者の確保難」	(13.0%)	[前回 9.3%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(13.0%)	[前回 9.3%]
卸売業	「需要の停滞」	(45.4%)	[前回 31.3%]
	「仕入単価の上昇」	(13.6%)	[前回 17.6%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(11.4%)	[前回 9.8%]
小売業	「消費者ニーズの変化への対応」	(22.5%)	[前回 16.6%]
	「需要の停滞」	(15.6%)	[前回 19.9%]
	「仕入単価の上昇」	(10.3%)	[前回 15.0%]
サービス業	「需要の停滞」	(17.2%)	[前回 13.7%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(14.3%)	[前回 16.4%]

(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では▲16.7〔前回調査時（平成26年4～6月期 16.1）〕と、前回調査時に比べ不足と回答する企業が増えている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 3.7 6.5〕（適正71.7%）
 建設〔前回 28.4 32.3〕（適正64.7%）
 卸売〔前回 17.8 12.7〕（適正83.7%）
 小売〔前回 13.9 8.7〕（適正82.7%）
 サービス〔前回 16.5 23.4〕（適正71.4%）

(7) 今期の新規設備投資

新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	28.9	10.4	19.3	8.3	16.5	16.7
土地	0.0	14.3	9.1	16.7	7.1	9.4
工場建物、建物、店舗	0.0	0.0	0.0	33.3	7.1	8.1
生産・販売・サービス設備、建設機械	61.5	14.3	18.2	16.7	28.6	27.9
車両運搬具	15.4	71.4	54.5	33.3	28.6	40.6
倉庫・駐車場等の付帯施設	23.1	0.0	27.3	0.0	35.7	17.2
OA機器	53.8	28.6	45.5	0.0	42.9	34.2
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	1.4
その他	7.7	0.0	0.0	33.3	35.7	15.3
実施していない	71.1	89.6	80.7	91.7	83.5	83.3

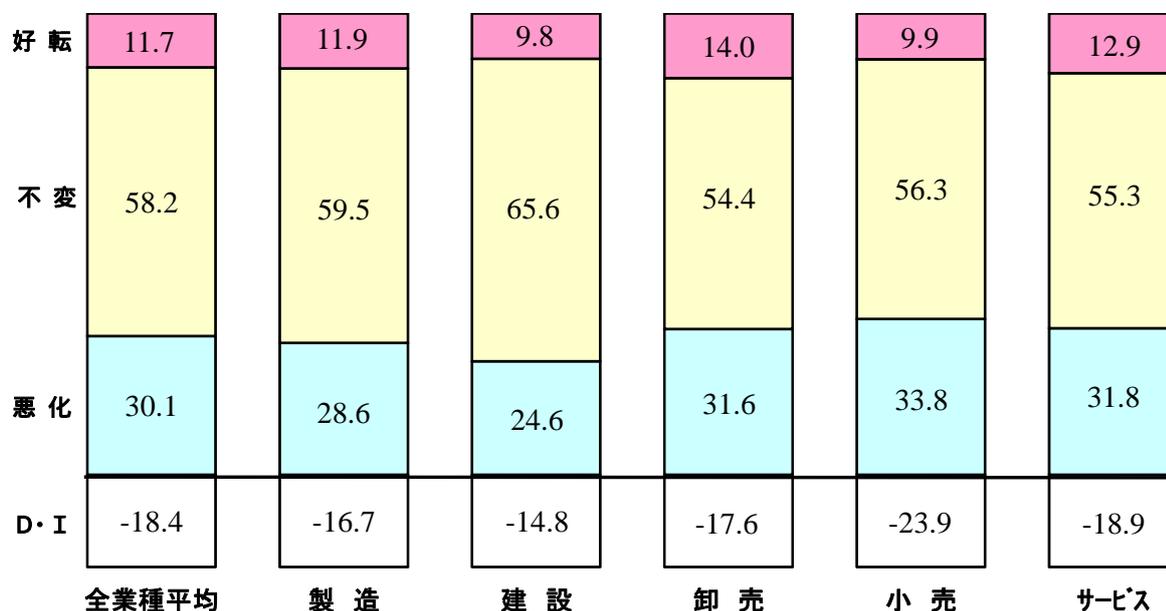
新たに設備投資を実施した企業は平均で16.7%〔前回調査時(平成26年4~6月期18.8%)〕、業種別では製造〔前回20.4% 28.9%〕、建設〔前回23.9% 10.4%〕、卸売〔前回21.3% 19.3%〕、小売〔前回10.0% 8.3%〕、サービス〔前回18.4% 16.5%〕と、製造業を除く4業種で設備投資を実施した企業は減少した。

2. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成25年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

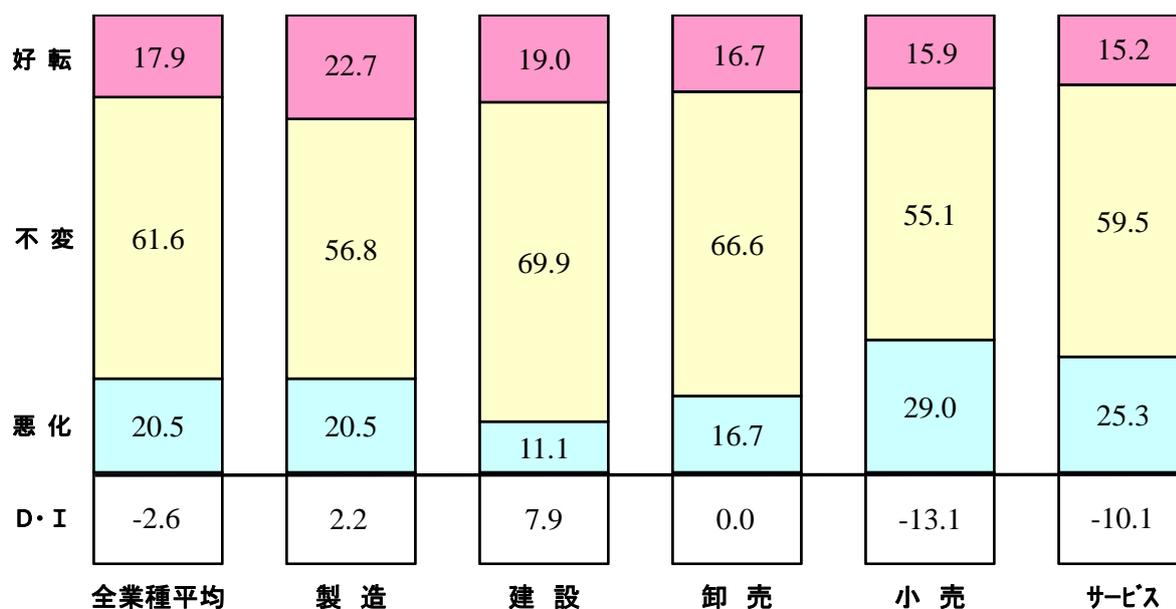
来期の業況見通し(前年同期比)



全業種平均でD・I値 18.4〔今期の業況（前年同期比 19.3）より0.9ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

【今期比】（平成26年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）

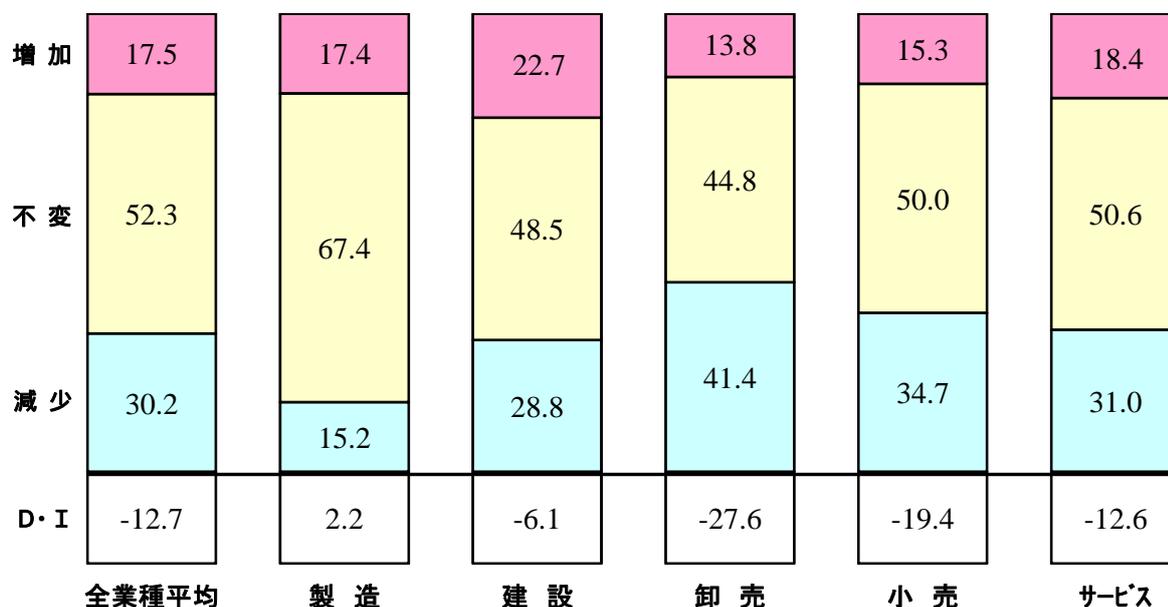
来期の業況見通し(今期比)



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成25年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し(前年同期比)

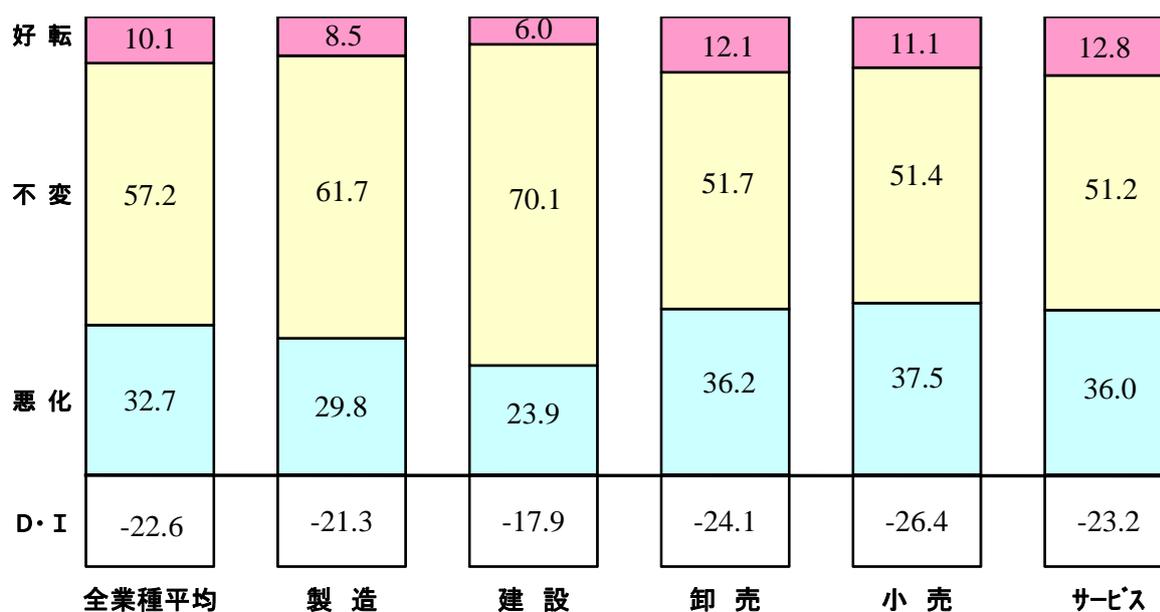


全業種平均でD・I値▲12.7〔今期の売上高（前年同期比 21.0）より8.3ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【来期】

来期の採算見通し



全業種平均でD・I値 22.6〔今期の採算（今期の水準 4.9）より17.7ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	18.2	12.1	12.3	11.1	18.3	14.4
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	1.3
工場建物、建物、店舗	12.5	12.5	0.0	37.5	26.7	17.8
生産・販売・サービス設備、建設機械	62.5	12.5	14.3	62.5	33.3	37.0
車両運搬具	12.5	62.5	85.7	12.5	33.3	41.3
倉庫・駐車場等の付帯施設	0.0	0.0	14.3	25.0	20.0	11.9
O A 機器	50.0	12.5	42.9	37.5	33.3	35.2
厚生施設	12.5	12.5	0.0	0.0	13.3	7.7
その他	0.0	12.5	14.3	12.5	13.3	10.5
実施しない	81.8	87.9	87.7	88.9	81.7	85.6

来期、新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**14.4%**となっており、
 今期**16.7%**)と比べ設備投資を控える傾向。

業種別では、製造〔今期**28.9%** 18.2%〕、建設〔今期**10.4%** 12.1%〕、卸売〔今期
19.3% 12.3%〕、小売〔今期**8.3%** 11.1%〕、サービス〔今期**16.5%** 18.3%〕となっ
 ている。